

給水装置先行取出工事竣工チェックリスト

書類検査

検査項目	検査内容	確認	備考
位置図	・工事箇所が確認できるよう、道路及び主要な建物等が記入されていること。		
	・工事箇所が明記されていること。		
平面図 及び 立面図	・方位が記入されていること。		
	・道路種別等付近の状況がわかりやすいこと。		
	・境界が記入されていること。		
	・分岐部のオフセットが記入されていること。		
	・平面図と立面図が整合していること。		
	・隠ぺいされた配管部分が明記されていること。		
	・各部の材料、口径及び延長が記入されており、 ①給水管及び給水用具は、性能基準適合品が使用されていること。 ②構造、材質基準に適合した適切な施工方法がとられていること。 (水の汚染・破壊・浸食・逆流・凍結防止等対策の明記)		

現場検査

検査種別及び検査項目	検査内容	確認	備考
分岐部オフセット	・正確に測定されていること。		
埋設深さ	・所定の深さが確保されていること。		
管延長	・竣工図と整合すること。		
きょう・ます類	・傾きがないこと、及び設置基準に適合すること。		
止水栓	・スピンドルの位置がボックスの中心にあること。		
配管	・延長、給水用具等の位置が竣工図面と整合すること。		
	・配水管の水圧に影響を及ぼすおそれのあるポンプに直接連結されていないこと。		
	・配管の口径、経路、構造等が適切であること。		
	・水の汚染、破壊、浸食、凍結等を防止するための適切な措置がなされていること。		
排水管	・道路側溝の側面の蓋の掛りより、5cm以上上げた位置に設置すること。		
	・管末は、側溝内側から2cm程度張り出すこと。		
	・側溝上部に排水管の位置を示すマーカを設置すること。		
	・洗管時に使用した時間を確認すること。		分間
接合・接続	・適切な接合が行われていること。		
管種	・性能基準適合品の使用を確認すること。		
給水用具	・性能基準適合品の使用を確認すること。		
機能検査	・通水した後、各給水用具からそれぞれ放流し、給水用具の吐水量、動作状態などについて確認すること。		
耐圧試験	・時計を写真に写し、測定時間を計測すること。		
	・一定の水圧による耐圧試験で、漏水及び抜けその他の異常がないことを確認すること。		
水質の確認	・残留塩素の確認を行うこと。		mg/l

上記事項を検査しましたので、報告します。

指定工事業者番号 No.

指定給水装置工事業者

事業所名

主任技術者名